				1	
建築工事特記仕様書		(1. 3. 10)			4章 地業工事
,_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		施工中の環境保全等		(4. 2. 4)	○行う ・行わない
工事概要		│ 」低騒音型・低振動型	 本工事においては、「 低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規	地盤の載荷試験 (4.6.2)	 ⊙再生クラッシャラン
	静岡大学(城北)受水槽基礎設置工事	建設機械の使用	程」(平成9年7月31日 建設省告示第1536号)に基づき国土交通大臣が型	材料	
			式指定を行った低騒音型・低振動型建設機械を使用するものとする。た		
	静岡県浜松市中区城北3丁目5-1 (静岡大学城北団地構内)		だし、これにより難い場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。		5章 鉄筋工事
完成期限	平成30年7月6日(金)		低騒音型建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使	(5. 2. 1)	
			用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。	鉄筋	種類の記号 径 (mm) 適用場所 ⊙ S D 295 A D 10 図示
工事の種類・規模等	棟 名 称	 ─ 排出ガス対策型	 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「 特定特殊自		○S D 295 A D 10 図示
	工 種 —	建設機械	動車排出ガスの規制等に関する法律」(平成17年法律第51号)に基づく技		⊙SD345 D19 図示
	構造・階数		術基準に適合する機械、または、「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付け建設省経機発第249号)、「排出ガス対策型建設機械		
	建築 面積 - び る 面積 -		の普及促進に関する規程」(平成18年3月17日国土交通省告示第348号)も		
	<u>ル へ </u>		しくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領」(平成18年3月17日付		6章 コンクリート工事
	延べ面積計 ー	_	け国総施第215号)に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7	(6.2.5) 構造体コンクリート	·A種 ⊙B種 ·C種
	改修延べ面積計 一		年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」	構造体コンケリート の仕上り	
	_		またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査		
	模様替内容 —		・ 証明事業、もしくは建設技術審査証明事業により評価された排出ガス 浄化装置を装着することで、排出ガス対策機械と同等と見なす。ただし	コンクリートの品質	摘要 種類 普通コンクリート 捨てコンクリート 適用場所 受水槽基礎
	-	1	才化装直を装着することで、排血ガス対束機械と向寺と見なす。だだし これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。		週刊場所 文外信益版 設計基準強度 (N/mm2) 2 1 1 8
	()の数値は、当該既設建物の面積とする。		排出ガス対策型建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械		スランプ (cm) 15 15
			を使用する場合、現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の 写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。		
	工作物等 受水槽基礎工事 一式		子会成がと目が、血自物質に促出するものとする。		工事区分表
	工 1 1 7 7 2 小 恒		機種摘要		工争区刀衣
			バックホウ		区分建市機
一般特記事項			ブルドーザを搭載したものに限る。	項目	区分 建 横 築 気 械 工 工 工 事 事
総 則 1. この工事の受注者は、静岡大学工事請負等契約細則別記第1号の工			発動電動機(可搬式、溶接兼用機を含む)	名称 各種槽類	摘要
事請負契約基準、特記仕様書1枚、図面1枚 公共建築工事標準仕			空気圧縮機(可搬式) ディーゼルエンジン(エンジ 油圧ユニット(基礎工事用機械で独立したもの) ン出力7.5kW以上、260kW以	"	屋外大型のものの基礎
様書(統一基準)(建築工事編)(平成28年版)、工事写真撮影要領に 基づき工事を施工、地盤調査標準仕様書(平成23年版)に基づき		ローラ類(ロー・ローラ教(ロー・ローラ教(ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロ	同上基礎上鉄骨架台		
	報査を実施する。		ホイールクレーン(ラフテレーンクレーン)	同上アンカーボル	
2. 特記仕様書の適用方法		(1. 3. 11)		※機械工事は別途工	L争と9 る。
(1) ・印を付した事項は、〇印の付した事項のみ適用する。 (2) 表中の数字、文字又は記号を記入する事項は、記入してある事項		発生材の処理等	関係法令に従い適切に処理するもの		
のみ適用する。			1) 品名 発生土 2) 受入場所 サトー建材(株) 浜松市東区市野町671		1章 一般共通事項
(3) 特記された材料、製造所、製品名、施工業者等の取扱いは、特記				[[1. 3. 11]]	標準仕様書に定めがあるもの以外で、次に示す作業段階及び事項に
	されたもの又は同等以上のものとする。ただし、同等以上のものと する場合は、監督職員の承諾を受ける。		3)搬出に先立ち搬出計画書を作成し、監督職員に提出する。	作業の立会い等	ついては、監督職員の立会いを受ける。
	(4) 左欄の()無いの数値は、下記の各該当番号を示す。		4)日々の搬出量等をとりまとめた土砂等搬出調書を作成し、監督 職員に提出する。		○調査位置及び深度 ②載荷試験時
	() — 公共建築工事標準仕様書(統一基準)		5) 工事発注後に明らかになった事情により、上記の指定によりが	[[] [4]]	
	(建築工事編) (平成28年版) [[]] — 地盤調査標準仕様書(平成23年版)	(1.5.5)	たい場合は、監督職員と協議する。	[[1.5.1]] 報告書等の提出	報告書等の提出部数は、1部とする。
		(1.5.5) 施工の検査等	 標準仕様書に定めがあるもの以外で、次について監督職員の検査を		
	請負代金 請負代金は、工事完成後静岡大学財務施設部財務課から1回に支払う。		受ける。		
	工事用地		○構造部の配筋が完了した段階		
	使用にあたっては、発注者等の承諾を得ること。ただし、工事用地の	(1. 5. 7)	○その他監督職員が必要と認めた段階 		
	借料は無償とする。 工事用写真等	施工の立会い等	標準仕様書に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項に		4章 載荷試験
	工事用写真等は、文部科学省が定めた「工事写真撮影要領」により		ついては、監督職員の立会いを受ける。 ⊙基準位置及び基準地盤高さの設定時	[[4. 2. 2]]	平板載荷試験は、次による。
	撮影し、次のものを提出すること。		○根切り底の掘削時	試験	試験位置 試験深さ 計画最大荷重 備考
	工事写真・・・・・サービス版・カラー(1部) 工事用電力等		・躯体コンクリートの試料採取時及び各種試験時		図示による GL-0.2m 150kN
	工事用電力は発電機を使用し、工事用水の使用料金は無償とする。				載荷方法 ○段階式載荷 ・段階式繰返し載荷 事 静岡大学(城北)受水槽基礎設置工事
			3章 土工事	-	<u></u> 在
	4 ± 6n 11 17 ± -T	(3. 2. 3)	種別 ・A種 ①B種 ・C種 ・D種		図
1章 一般共通事項		埋戻し及び盛土			
(1.3.5) 施工条件	この工事現場では、次の施工条件による。 学校行事等の配慮や別工事との重複期間がある為、工程表提出時に	(3. 2. 5)	⊙ (1.3.11) による		
	学校刊事等の配慮や別工事との主後期间がある為、工程表提山時に 協議する事とする。	建設発生土の処理			
					平成30年5月 作成 静岡大学 財務施設部 施設課

